



## 北斗句会

三月定例会（三日 メール句会）

兼題 「餅」「芽」

五十音順

特選は特選 石田きよし選

静かなる人ばかりなり花の山

大崎石州

白波の先に椿の伊豆七島

太田黒幸風

特 祭壇の友の遺影や鳥雲に

大森康政

靴音の暖かさ増す歩道橋

竹内雲泉

ごみ出して暫く仰ぐ月おぼろ

田中資凡

春耕や日記押しわけ農日記

長池豆陽

真間川の狭き流れや残り鴨

深見十万

特 弥陀仏に聞けよ聴けよと初音かな

藤田紀潮

草餅を喰らひてハイク軽やかに

宮下ひかる

炊き立ての御飯の湯気や木の芽和へ

森田光彦

特 春ささす我を追ひ抜く女学生

山縣秀雄

桜餅認知症まだ早すぎる

吉岡誠山



殺生の目刺しの竹をそつと抜く

石田きよし